

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回転慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

この幅に抑えてください。この幅に抑えてください。この幅に抑えてください。この幅に抑えてください。この幅に抑えてください。この幅に抑えてください。

← lefttest righttest →

表 1.2 オリジナル。さすがにはみ出すぎ。(偶数ページ)

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.3 `\small` で表内の text size を小さくした。これでもまだ少しはみ出てる。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.4 `array.sty` を使用して、ソースをきれいにした。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.5 `tabular` の横幅を最大 (`\linewidth`) にして、最後の列以外の幅指定を自動にした。`tabularx.sty` を使用。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.6 `line skip` を微調整。というかゼロにした。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

ここは余白じゃなくて欄外脚注のスペース。

表 1.7 bottom の line で揃える。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.8 慣性モーメントのところの line skip だけをゼロに。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.9 bottom の line で揃える。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

表 1.10 単位の column を揃えた。

質量 M [kg]	角加速度 \ddot{q} [rad/s ²]	加速度 \dot{q} [m/s]	最大応力 σ [Pa]	変位 δ_z [m]	重心の鉛直方向回り 慣性モーメント I_{S_0} [gmm ²]
1.07	4.25×10^{-1}	4.25×10^{-1}	9.28×10^6	2.19×10^{-3}	1.02×10^8

個人的には、表 1.6 か 1.8 がおすすめです。